

宮原春夫前市議からバトンタッチを受けて4年間、身近な地域の願い実現や子育て・教育施策の充実、防災対策の前進、高齢者や障害のあるみなさんの暮らしを支える制度充実、国籍や民族を理由に差別をするヘイトスピーチのないまちへ、と全力を尽くしてきました。引き続き全力で頑張ります。みなさんのご支援を心からお願いいたします。

市議会議員 片柳すすむ

子育ても老後も

誰もが安心して暮らせるまちを

# 片柳すすむ

市議会議員（川崎区）

かたやなぎ 進

プロフィール ◆川崎市川崎区新川通在住◆くらしの相談センター（宮原春夫所長）所長代理◆1976年 横浜市港北区に生まれ、磯子区岡村に育つ。◆神奈川県立横浜緑ヶ丘高校卒業◆明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業◆日本共産党地区委員会（常任委員）、同県委員会（県委員）で勤務。◆川崎市議会議員（1期）、文教委員会委員長◇家族は妻、長男（7歳・宮前小）、次男（4歳・幼稚園年中）、長女（2歳）



2018年号外  
日本共産党川崎市議会議員団  
川崎市川崎区宮本町1 川崎市役所内 ☎200-3360  
日本共産党市議団 検索



片柳すすむブログ  
はこちらから→



日本共産党

# 原点は災害ボランティア―片柳すすむの生い立ち

## ●片柳すすむの生い立ち



1995年、阪神淡路大震災ボランティアに参加

公務員として働きながら労働

運動・保育運動で頑張る両親の背中をみながら育ちました。相撲が好きで、大好きな北の湖が負けると泣いていました。「言い出したら聞かないガンコな子」(母・容子談)でした。小学校時代は、冬でも毎日半ズボンで通う元気な子どもでした。学級文庫の「はだしのゲン」「ベロ出しチョンマ」などを読み「なぜ戦争や差別があるのか」と思い始めました。

## ●震災ボランティアをきっかけに共産党に入党

高校では、柔道部に入部し初段を取りました。

高校時代に「もっと世の中のこ

とを知って何かしたい」と「日本民主青年同盟」に加わりました。

高校3年の1995年1月、

民青同盟の先輩にさそわれて阪神・淡路大震災の救援ボランティアに参加。低所得者が多い地域で古い木造家屋が倒壊し、多くの命が失われていました。物資や水などを運びながら、被災されたみなさんと話す中で、貧富の差について真剣に考えさせられました。

## ●川崎市政への挑戦を決意

大学の社会福祉学科に入学した頃、多くの人が仮設住宅で苦労しているときに、1兆円規模の神戸空港建設が進んでいることを知りました。「大企業本位の政治でなく、困っている人が最優先される世の中になりたい」と、大学1年の春に日本共産党に入党しました。

大学卒業後は、日本共産党の地区委員会・県委員会の職員として活動し、長男誕生を機に高

津区から妻の実家のある川崎区に転居してきました。

11年3月の東日本大震災のと

き長男は妻のお腹の中にいました。毎日、原発事故のニュースを見て「このまま川崎に住み続けられるのか」「放射能が胎内の赤ちゃんに影響したら…」と、不安な思いにかられました。「こんな思いをさせる原発を早く無くしたい」との思いで原発反対の官邸前行動などに家族や友人と参加。共産党川崎市議団が実施した放射線量測定調査にも参加し、データをまとめる役割を引き受けました。



東日本大震災で石巻市で被災者の要望を聞く

## Message

平和憲法守る大学の後輩  
片柳進さんに期待します



高橋誠さん  
本町1丁目在住  
日本キリスト会  
川崎教会牧師

さわやかな笑顔、やわらかでわかりやすい語り口、誠実な人柄、平和を愛する心と、市民ひとり一人の幸せを思う心…初対面での挨拶と数分の立ち話だけで、情熱的な思いがまっすぐに伝わってくる。人が大切、しかも弱い立場の人たちのことをきちんと考えることが、誰にもよい社会を作ることにつながるということを、身をもって理解してくれている。その想いを自分の言葉で熱く語り、行動する。友情を感じるなあ。こんなにまつすぐな人が地元の市議会議員だなんて、嬉しいじゃないですか。おまけに私と同じ明治学院大学の同窓生だなんてね。聖書に「豊かな人が神の国に入るより、ラクダが針の穴を通る方がやさしい」、っていう言葉があります。困っている人や差別されている人の側に立つことができることがいかに希有なことか！今、日本は、主権が国民にあることや、民主主義と教育、平和憲法を守ることもなど、たくさん問題に直面しています。頼りにしていますよ、片柳すすむ先生！



労働組合メンバー・弁護士と街頭労働相談

「親の介護で1カ月10万円かかる：特養ホームを増やして」「病弱な子どものために小児医療費無料化を広げてほしい」など、地域のみなさんの切実な声に耳を傾けてきました。その一方で「船の来ない港の開港」「1m1億円の高速道路建設」など、税金ムダづかいが堂々と進められている実態を目の前にして、何とかこの政治を変えたいという思いを強くし、宮原春夫前市議の活動を引き継ぎ、市政改革に挑む決意をしたのです。

●ブラック企業を許さない

若手弁護士や労働組合員などが協力して、「ブラック企業をなくそう」というネットワーク

を結成し、その一員に加わりました。深夜の街頭労働相談では「職場から保険証を受け取っていない」「パワハラがひどく『犬』呼ばわりされています」などの相談が寄せられています。



子育てシールアンケートで対話

●子育ての願いを市政に

「子育てが大変」との声を市政に届けるために、川崎区内の公園をめぐる「子育てアンケート」を実施しました。「園庭があり、雰囲気の良い保育園は倍率が高く、希望の保育園に入るか不安」「東京では中学校まで医療費無料なのに、なぜ川崎では小学生までなの？子どもに通院をガマンさせている人もいる」などの声が次々寄せられました。この声を市議会に届け、実現のために取り組んでいます。

八丁畷—20年来の懸案  
駅前道路問題が前進

地域のみなさんが長年改善を求めておられた、見通しが利かない危険な駅前道路の問題では、地域のみなさんと力を合わせ、宮原前市議の時期から20年以上繰り返し議会を取り上げてきました。片柳市議も継続して議会で質問を繰り返し、ようやく改善されました。引き続き、みなさまの要望を伺って改善を求めてまいります。



(左) 以前はバスが止まると渋滞が発生  
(右) 車イスでも通れる歩道になりました



Message

宮原春夫前市議の  
バトンを受け、  
さらなる活躍を期待



佐々木勝男さん  
日進町在住  
元小学校教員

「市民のみなさん おはようございます！私は日本共産党川崎市議会議員の片柳すすむです」。毎週水曜日の朝、八丁畷駅前でのさわやか演説は、行き交う市民の心強い励みになっています。片柳さんは、2014年春の市議会選挙で宮原春夫さんの後継者となり、地域住民の要望実現に大奮闘しています。八丁畷駅にエレベーター設置。駅前ロータリーの整備で混雑解消。小田1丁目・旭町小学校前の危険な横断歩道の改善など、相談にのれる市議員さんです。2019年春は飛躍の年です。「あかれる笑顔、頼りになる知性」など抜群の人柄の持ち主の片柳さんに、第2期の活躍を期待します。



# くらしに身近な願い—ひとつひとつ実現へ全力

## 新川通—町内会の 掲示板がバス通りに新設

町内会の皆さんから「町内会の掲示板が裏通りにしかない。バス通り沿いにも設置できないか」との要望があり、片柳市議は制度上設置できることを調査確認し、すぐに役所と交渉し、市役所から町内会に設置可能な場所の情報が知らされました。地域の皆さんの努力で掲示板の新設が実現しました。



## 三の辻交差点—歩道中央の 危険な電柱を移設

歩道の中央に電柱があり、歩きにくかった三の辻交差点。市民から「ベビーカーでは通れな

## 「藤崎保育園入口」 歩行者「青」信号が延長

「自転車とぶつかって怪我をした」などの声が寄せられていました。住民の皆さんと現地調査などを行い、議会でも質問し、電柱の移設が実現。歩行者の安全を確保できるようになりました。



改善前(左)→通しやすい歩道に改善(右)

「歩行者信号がすぐに「赤」に変わって渡りきれない」「車いすの人が渡る途中で赤になって

しまい困っていた」などの声が出されてきました。

地域のみなさんの運動を背景に、片柳市議が市議会で質問、共産党県議とも連携して県当局へも要請した結果、歩行者用の「青信号」の時間の延長が実現しました。



## 旭町小付近(ローソン前) 横断歩道の塗り替えが実現

旭町小学校近くの横断歩道の白線・道路の停止線がほとんど

すぐに行動してくれた  
片柳さんに感謝



田中裕二さん  
藤崎在住

## Message

私のマンションの近くにある「藤崎保育園入口」の信号の横断歩道の渡る時間が短くて、お年寄りや、体の不自由な方はとても渡りきれませんでした。この渡る時間を延長したいと3年間かけて藤崎交番や中島交番、また県警にも出向いて頼み込んでも一向に埒があきませんでした。これはひとつ市会議員の片柳すむむさんにおねがいしてみようと片柳さんに頼み込みました。そうしたところ、半年もたないうちに信号の渡る時間の延長を成し遂げていただきました。日頃、われわれ困っている市民を、体を張って支えて頂いている片柳すむむ議員に心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

見えないまま放置されていました。住民の方も「車がオーバーランして横断歩道に入ってきてしまい、危ない思いをしたことがある」と話していました。



改善前(上)→横断歩道と停止線の塗り替えが行われました(下)

片柳市議が市議会でも取り上げ、共産党県会議員も対応を求める中で、白線の引き直しが行われ、ようやく行われました。

### 親子で気軽に遊べる 富士見児童プールの再整備を

富士見公園にあった児童プールがなくなり4年がたちます。「今年の夏はすごく暑かった。子どもと一緒に気軽に遊びに行けるプールを再開してほしい」との声が寄せられています。

また子どもの貧困も深刻になるなか「安く利用できるプールを再整備してほしい」との要望は切実です。片柳市議は、議会でも質問し、夏はプール・冬はフットサルコートとして活用している港区の公園の事例も紹介しながら「富士見児童プールの再整備を」と求めました。

地域のみなさんとともにプールの再整備の実現をめざします。



夏はプール(左)、冬はフットサル場(右)となる港区の芝公園多目的運動場

## Message

反戦と平和で  
やさしい住みよい街へ



若月偉男さん  
新川通在住  
元技連協会長  
境町在住

- ①何となく反体制派で60年安保闘争の時は国会前のデモで亡くなられた樺みちこさんの焼香に国会前へ行ったことが思い出となる。
- ②片柳すすむさんとは2014年新川通町内会で知り合いになった。安倍政権の平和憲法9条改悪で日本の国が集団的自衛権行使で戦争するアメリカ追従に苛立ちを感じている矢先であった。
- ③進さんの優しい人柄とブレない意思に惚れ込み応援した。宮原春夫さんの後継者の新人立候補で議員になることができた。
- ④あれから3年余りが瞬く間に過ぎた。現在、ハイトスピーチ。羽田増便にともなう低空飛行、川崎区内の道路歩行ラインの劣化補修など、きめ細かい対策を実行している。書きたいことはたくさんあるが、今後は働く若者と高齢者との交流の連帯づくりをお願いしたい。

**実現した中学校給食  
安全・安心、さらに良い物に**

総務委員・文教委員として安  
全・安心の中学校給食に、と要  
求してきました。

南部給食センターから宮前区  
まで配送に最大1時間かかる問  
題などを取り上げ、改善を実  
現。食育の充実やアレルギー対  
策の先頭に立つ栄養士の配置の  
拡充を求めました。



給食を試食する片柳市議

**子どもの医療費  
―中学校卒業まで拡充を**

市民の運動と連携して子ども  
の医療費助成制度の充実を提  
案。小学校6年生まで拡大され



2016年3月、中学3年生まで所得制限なしで拡充する条例(通院)を提案

ることになりました(通院)。  
全国では中学校卒業、高校卒  
業まで拡充する自治体が多数で  
す。相模原市は今年10月から中  
学校卒業までに拡充、横浜市も  
来年4月から同様に拡充の予定  
です。川崎市でも、所得制限な  
しで中学校卒業まで通院も助成  
するよう求めています。

**全国一高い幼稚園の費用  
入園料補助など軽減を**

一般質問で幼稚園の費用に対  
する補助の充実を求めて質問。  
川崎市の幼稚園の費用は全国の  
政令市で最も高く、保育料の平  
均は36万2千円で入園料は14万

8千円。合計額の51万円は全国  
平均を17万円も上回ります。

片柳市議は、それぞれの年収  
に応じたランクでの保育料補助  
の拡充を求めるとともに、

「隣の大田区は入園料に11万  
円・世田  
谷区は9  
万円の補  
助を行っ  
ている。  
川崎市も  
幼稚園の  
入園料に  
10万円の  
補助新設  
を」と求  
めました。

幼稚園の入園料・保育料の政令市比較 (2017年度)

「高い」 3市	入園料	保育料	「安い」 3市	入園料	保育料
川崎市	14.8 万円	36.2 万円	静岡市	3.2 万円	22.9 万円
横浜市	11.6 万円	33.2 万円	浜松市	3.6 万円	23.7 万円
大阪市	5.2 万円	36.0 万円	熊本市	2.8 万円	26.0 万円

**「教室までひどい臭いが…」  
学校トイレの改善 洋式化を**

「ひどい臭いが教室までくる」  
「子どもが学校のトイレに行け  
ない」―次々と寄せられる声に  
こたえて日本共産党は、学校の

トイレの早急の改善・洋式化を  
求めてきました。

また学校は災害時には避難所  
となります。片柳市議は「和式  
トイレに座った高齢者が立ち上  
がれなくなり長時間閉じ込めら  
れた」(宮城県石巻市)との事例  
も紹介してトイレの改善を急ぐ  
よう質問。

こうしたやり取りを通じて、  
現在教育委員会は「便器の洋式  
化、床のドライ化、照明のLED  
化等の改修工事を2022年  
度までに完了する予定」として  
います。

**園庭があり、安心して  
預けられる認可保育園を**

2018年度、認可保育園を  
希望したのに入所できなかった  
児童は2960人と過去最高  
に。日本共産党は川崎アプロ  
チ線の予定地など公有地も活用  
して認可保育園の増設をするよ  
う求めています。



# 必要のない大型開発を改め、市民のくらし最優先の市政に

## 石油コンビナート上空を飛ぶ危険な飛行ルートは撤回を

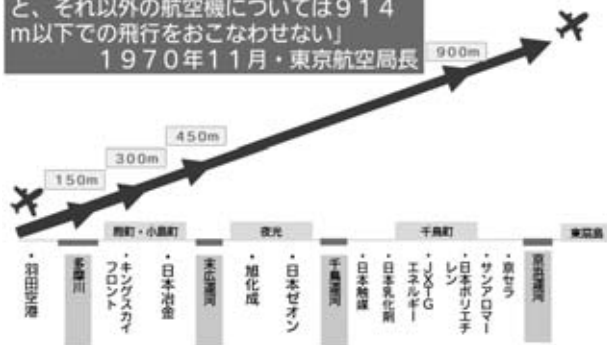
政府は羽田空港から飛行機の離陸便の数を増やすためとして、羽田を離陸した直後に飛行機が石油・化学コンビナート上空に向かって飛行する計画を進めようとしています。

日本冶金、旭化成、日本ゼオン、JXTGエネルギーなど危険物を取り扱う工場の真上を飛び計画です。

航空機事故の60%以上が、離陸直後の3分間・着陸直前の8分間に起こっています。2017年には航空機から胴体パネルなどが落下する事故が続発。万一これらの工場に落下物が落ちて事故になれば大変な被害となりかねません。

だからこそ川崎市は国と「原則として川崎石油コンビナート上空を避け、914m以下での飛行をおこなわせない」と約束を交わしています。こうした約

「原則として川崎石油コンビナート上空を避け、適切な飛行コースをとらせること、それ以外の航空機については914m以下での飛行をおこなわせない」  
1970年11月・東京航空局長



束を破る新飛行ルートは撤回させるしかありません。

## 市民負担40億円 東扇島堀込部埋立ては中止に

川崎市はリニア新幹線のトンネル掘削で発生する建設残土の受け入れを約束。当初は総費用をすべて残土受け入れ料金に転

嫁するので、市民に負担はかけない、と言っていました。JR東海の負担は200億円のみで、40億円は市の負担となることが明らかになりました。

## 最低でも300億円の事業費 川崎アプローチ線は不要

川崎市は、尻手駅―浜川崎駅間を走るJR南武支線について



て、尻手ではなく、直接、川崎駅に接続する計画を進めようとしています(左図)。立ち退きや騒音被害などを余儀なくされる周辺住民にとっては大きな負担がかかることとなります。すでにバス便が充実しているこの地域に本当に川崎駅直結の鉄道が必要なのかが問われています。最低でも、事業費300億円を費やすこの路線が本当に必要なのか、市民の意見をよく聞き、改めるべきです。



川崎アプローチ線  
の予定路線  
(現在の【尻手⇄浜川崎】を、  
【川崎⇄浜川崎】に変更)

# すべての市民の人権が大切にされる、多文化共生のまちへ

## ヘイトスピーチ、許さない

川崎市を中心に、市内で繰り返されるヘイトスピーチ。

片柳さんは議員になる前から、党地区委員会としての抗議行動の先頭に立って、「ヘイトスピーチは許さない」と街頭から訴え続け、当選後もこの問題を取り上げてきました。

片柳議員は議会質問で、川崎市が作成した「公的施設利用のガイドライン」が、ヘイトスピーチが行われることが明らかになっても「警察の警備が入ってもなお混乱を防止することができない場合」にはじめて適用される内容であり、実際にはほとんどのケースで適用できないことを指摘。この『迷惑要件』をなくして、ヘイトスピーチが



川崎駅東口でヘイトデモへの抗議行動

行われることが明らかの場合には厳しい対処を」求めました。

## 朝鮮学校への施設整備補助の再開

神奈川県が外交問題を理由に、経常費補助を停止したことに伴い、川崎市も2012年度まで行われてきた朝鮮学校への施設整備等補助金の交付を取りやめてしまいました。

片柳議員は、「子どもの学習権は、外交問題とは関係なく保障されなければならない」と補助再開を求めています。

## LGBT (SOGI) の人権守り、生活向上を

市内の当事者団体とも懇談・交流をしながら、大阪市淀川区、渋谷区、世田谷区、札幌市、那覇市など「同性パートナーシップ制度」等を導入している先進的な自治体を訪問し事例を調査。市長に「LGBT支援宣言」をあげて全面的な取り組みをすすめること、全職員・全教

員を対象に研修などを行うように求めました。

また、L

GBT当事

者が交流できるコミュ

ニティスペースを実施するよう繰り返し求めてきました。

これらを背景に、今年1月に「ピープルデザインシネマ20



日本共産党市議団が主催した講演会

## 若者の笑顔が輝く川崎に

### 高すぎる学費・教育費 ―市独自に給付奨学金を

私立大学生の「仕送りなしで6万4千円の奨学金と週3〜5日・深夜2時までの居酒屋バイトで生活。教科書を揃えられたのは大学が始まって5週間経ってから」などの実態を取り上げ、返済不要の給付奨学金制度の創設を求めました。

### 高校生「居場所カフェ」 ―全定時制高校に拡大を

市立川崎高校で「ぼちつとカフェ」という取組みが行われています。高校生のさまざまな悩みによりそう大人がいて悩みをポロツとこぼせるカフェです。片柳市議はこの「カフェ」について議会で繰り返し取り上げ、全定時制高校に広げること



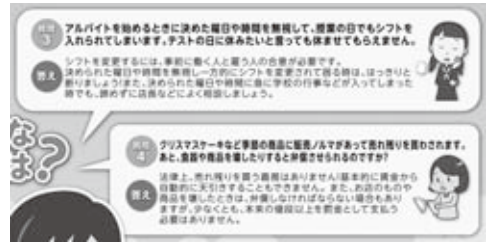
を提起しました。高校生が抱える生活上の悩みを入口に、制度的に対応できるものがあればすぐにサポートできる体制をとるよう提案しました。この提案に教育委員会も「拡大したい」と答えています。

### 「ブラックバイト」なくせ 働く権利知らせるリーフを

「売れ残りのXマスケーキを自腹で買い取りさせられる」「試験前なのに休ませてくれない」など高校生や大学・専門学校生の労働法を無視した「ブ

ラックバイト」の実態を取り上げて質問しました。片柳市議は

「具体的な事例をわかりやすく示し、労働法を若者に知らせるべき」と要求。解説リーフレットが作成されました。



## 健康で文化的に暮らせる住宅の保障を

### 簡易宿泊所の防災対策 — 不燃化対策などへの補助を

2015年5月に日進町の簡易宿泊所での火災事故。片柳議員はその直後の議会から継続的にこの問題に取り組んでいきます。簡易宿泊所を利用している人が、アパートへの転居を希望する際のサポート体制を求めました。また木造の簡易宿泊所が

立ち並んでいる日進町地域の特性を示しながら、山谷地区を抱

### 火災事故再発防止 安全安心の居住政策を



【問題】2015年5月に日進町の簡易宿泊所での火災事故。片柳議員はその直後の議会から継続的にこの問題に取り組んでいきます。簡易宿泊所を利用している人が、アパートへの転居を希望する際のサポート体制を求めました。また木造の簡易宿泊所が立ち並んでいる日進町地域の特性を示しながら、山谷地区を抱

える東京都台東区が、「不燃化工事」や外国人旅行者に対応するための「改装」に対する「補助制度」を実施していることを紹介し、不燃化対策などを要望しました。

### 住宅問題の根本 市が住宅確保の公約責任果たせ

日本共産党発行の「議会と自治体」誌(2015年8月号)にもこの問題で論文を発表。一時的な宿泊所であるはずの簡易宿泊所に、長年暮らさざるを得ない高齢者が多くいることを指摘するとともに、再発防止策や住民に寄り添ったサポートを提起。何よりも、根本問題として川崎市が住居の安定確保の公的責任を果たすべきと強調しました。

川崎市の全住宅にしめる市営住宅の割合は、80年代には5・1%だったものが08年には3・8%にまで落ち込むなど、公営住宅があまりにも不足しているとして、憲法の求める「健康で文化的な最低限度の生活」ができる公営住宅や家賃補助付き住宅などを整備するよう求めました。



家族みんなで 応援しています

# 洪水ハザードマップの配布、水害時避難ビル、公の責任で防災の強化を

西日本豪雨災害や台風21号など、多くの犠牲者を出した深刻な水害が後を絶ちません。川崎市のなかでも、特に川崎区は多摩川と鶴見川と海に面した地形であり、多摩川が氾濫した場合の洪水ハザードマップによると、川崎区のほぼ全域で少なくとも「50cm～3m」以上の浸水が予測されています。

1958年には「狩野川台風」により鶴見川が氾濫。川崎区内にも浸水被害が広がりました。高齢者のみなさんから、「洪水



水害時避難ビル (大阪市住吉区)

のときに避難所まで逃げられるか心配」との声も寄せられています。

**防災無線が聞こえない！  
安価な戸別受信機の提供を**

川崎市内全域から「防災無線がよく聞こえず、避難指示が出たかどうかかわからなかった」などの声が寄せられています。

長野県岡谷市、静岡県三島市では、ラジオも聞くことができず、1000円で販売しています。(写真)



三島市の戸別受信機

今年の9月議会で共産党市会議員団は、川崎市でも同様の機器を安価で普及すべきと提案しました。

今後防災無線はデジタル回線に切り替わります。市は「最新機器の機能などについても研究したい」と答えています。



● 床上浸水の被害 (川崎区宮町)

狩野川台風の被害状況。『かわさきのあゆみ』写真でみる明治・大正・昭和(川崎市発行)より

**「洪水ハザードマップ」の  
全戸配布が実現**

従来川崎市は「洪水ハザードマップ(洪水の際に各戸がどれだけ浸水する可能性があるのか、どこに避難すれば良いかなどを示す地図)は全戸配布しない」「依頼があった場合に出前講座を行い、そこで渡す」という対応でした。

片柳市議は昨年の6月議会で、全戸配布を実施すれば、「自宅が浸水する危険性があるのか」「どこに逃げればいいのか」を市民が理解する割合が大きく伸びるといふ国の関係機関の調査結果を示して洪水ハザードマップを全戸配布をするように求めました。  
この質問などを契機に、今年の6～7月にかけて「号外・備えるかわさき第2号」として洪水ハザードマップの全戸配布が行われました。

かけがえのない

1 市民と力をあわせ議会で論戦、市政を動かし願い実現

- 中学校完全給食がついに実現（2017年度中に全校実施）— 20年来の市民運動とともに
- 認可保育園の増設 — 今後4年間で8665人分の定員増を計画に盛り込ませる
- 小児医療費・入院助成の所得制限が廃止へ（2019年1月から）— 通院でも廃止求める
- こども文化センター集会室にエアコン設置 — いっきに13カ所の設計費（2018年度）
- 学校トイレの洋式化 — スピード倍化、2022年までにすべての公立学校のトイレ洋式化へ
- 就学援助の入学準備金を前倒し支給 — 中学校は2018年3月実施、小学校は2019年3月実施へ
- 子どもの貧困対策 — 学習支援・居場所づくり事業（12カ所へ）、ひとり親家庭等の生活・学習支援事業スタート



2 不要不急の大規模事業をきびしく追及し、キッパリ中止を求めています

- 市民生活に必要な2つの橋建設（羽田連絡道路300億円、臨港道路東扇島水江町線540億円）
- 東扇島堀込部の埋立土地造成事業（240億円）
- 船がほとんど来ない港のコンテナターミナル開発
- 1メートル1億円の高速川崎縦貫道路整備
- 採算性なく、まちこわしの鉄道整備＝川崎アプローチ線（300億円）



3 消費税10%やめろ、憲法9条まもれ、悪政許しません

川崎市議会で、福祉切り捨て・市民負担増、ムダな大規模開発を推進する予算に何でも賛成の自民・公明。国政でも消費税10%増税、憲法9条改憲、福祉切り捨てを進める安倍内閣。国政でも市政でも自民・公明と対決して国民の願いを託せるのは、日本共産党です。

政令市トップの  
豊かな財政いかに  
財源はあります

- 市税収入は5年連続過去最大
- 市のためこみ貯金（減債基金残高）は2305億円（2018年度末）
- 財政力指数は20政令市中1位

共産党は、不要不急の大規模事業やめ、福祉・くらしに予算を回す「予算組み替え案」を毎年提案しています。

国への意見書、請願への市議会主要会派の態度

2015年度以降の定例議会から抜粋

（賛成○ 反対●）

意見書・請願	自民	公明	民進	共産
国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書（15年12月議会）	○	○	○	●
元海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、全ての米軍基地の速やかな撤去を求める意見書（16年6月議会）	●	●	●	○
南スーダンに派遣されている自衛隊の即時撤退を求める意見書（16年9月議会）	●	●	●	○
小児医療費助成制度に一部負担金を導入しないことを求める請願（16年9月議会）	●	●	●	○
生活保護基準の引き下げに反対する意見書（18年3月議会）	●	●	●	○
消費税の増税中止を求める意見書（18年3月議会）	●	●	●	○

\*「民進」は旧民主を含む。



# 憲法9条改憲は許しません！

## 片柳すすむのお約束

- こどもの医療費（通院）を所得制限なしで中学卒業まで拡充を
- 園庭のある認可保育園の増設を
- 私立幼稚園の入園料補助創設・保育料補助増額を
- 「住宅リフォーム助成制度」実現を
- 富士見公園に児童プールの再整備を
- 石油化学コンビナート上空に離陸する羽田新飛行ルートは中止に
- 特別養護老人ホームの増設を
- 「水害時避難ビル」の指定など、洪水・水害対策の充実を
- 羽田連絡道路（300億円）、臨港道路東扇島水江町線（540億円）、川崎アプローチ線（300億円）東扇島堀込部埋め立て事業（240億円）など、不要不急の大型開発は見直しを
- ヘイトスピーチを許さない。  
ガイドラインの「迷惑要件」は廃止に



### 片柳すすむさんを応援します (50音順)

鍛治 川崎区革新懇事務局長  
 川口 彩子 弁護士  
 桑島 政臣 医師  
 喜野 政興 渡田1丁目在住  
 小山 武 川崎年金者組合川崎みなみ支部書記長  
 笹岡 敏紀 小田1丁目在住  
 佐藤 進 川崎区後援会会長代理  
 菅野 明 川崎労連議長  
 鈴木 啓子 神泉連主婦協会会長  
 滝澤 貢 日本基督教団川崎教会牧師・  
 野村 澄夫 頌和幼稚園園長  
 野村 眞孝 神奈川土建川崎支部執行委員長  
 西馬場 学 池上新町在住  
 はたの君枝 川崎中央民商会長  
 畑谷 嘉宏 日本共産党衆院議員  
 濱田 慶三 弁護士  
 観音町在住・とりけい店主  
 緑川 ゆづ子 くらしの相談センター・行政書士

### 国政でも

「安倍政治変えたい」  
あなたの願いをこんどは**共産党**へ

#### 戦争NO、憲法9条守る ぶれない党です

戦前から命がけて戦争反対を貫いてきた党です。

平和が危ない、安倍政治を許さない…市民と野党の共闘を何より大事にし、真剣に取り組んできました。



参院 神奈川  
あさか 由香  
(浅貫ゆか)

#### 市民と野党の共闘のかなめ 消費税10%、ゆるさない

日本共産党が伸びれば、本気の野党共闘が前に進みます。本来の力を発揮します。安倍政権がこんどは9条改憲の国会発議、消費税10%増税をねらっています。日本共産党を、大きく伸ばしてください。



参院 比例  
しいば かずゆき  
(椎葉寿幸)